特　集

公共施設再編に向けた取り組みについて



本町では、昭和40年代からの人口増加に合わせて公共施設の整備を進めてまいりましたが、建設から40年を超える施設が多く、年々老朽化が進んでおり、大規模改修や建替えなど、今後、施設の維持に多額の費用が必要になると考えられます。

また、人口の減少が続く中、これまでどおり公共施設を維持することは難しく、今後は、人口や財政規模に応じた施設規模の適正化を図ることが求められます。

そのため、令和５年６月に「豊能町公共施設再編に関する基本方針」を策定し、この間、東地区および西地区の公共施設再編整備に向けた取り組みを進めてまいりました。

引き続き　持続可能なまちづくりを目指し、施設整備に取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力賜りますようお願いします。

◆豊能町公共施設再編に関する基本方針

【基本的な考え方】　～コンパクトなまちづくり～

- 人口減少や財政規模に応じた施設規模の適正化を図る。
- 統廃合や複合化を視野に入れた施設の有効活用を図る。
- 持続可能なまちづくりに向けた施設の整備を図る。

【公共施設再編の基本方針】

- さまざまな交流が生まれ、住民の活動を支え、発展させる機能を有し、地域特性を踏まえ、東西それぞれの地区にふさわしい機能を備えたものとする。
- 必要な住民サービスを効率的に提供することで、住民生活の利便性の向上に繋げる。
- 重複している機能を統合化し、効率的な施設運営に繋げる。
- 将来の町財政負担の軽減を図る。

◆西地区の取り組み

公共施設再編に関する基本方針では、西地区の中心部に施設が集中し整備されていることが本町の魅力であり、この魅力を維持・増進することを基本に公共施設の再編を進めることとしており、新たな施設については、吉川支所、西公民館、図書館、ユーベルホール、老人福祉センター豊寿荘、保健福祉センターの各施設を集約し、「ふれあい広場から豊寿荘周辺」に建設することとしています。

その一方で、近年の原材料費やエネルギーコストの上昇による建築資材の高騰、人材不足・高齢化の進展による労務費の高騰により、今後、施設再編に要する費用は大幅な上昇が見込まれています。

現在、基本計画の策定に取り組んでいるところですが、建築資材や労務費などの高騰を踏まえ、住民の利便性や機能を維持することを前提に、一部の公共施設については改修し長寿命化することも含めて検討するなど、物価高騰の影響を可能なかぎり抑えたいと考えており、基本計画につきましても、そうした考えを反映し策定することとしています。

◇今後の予定

今年度末までに基本計画を策定し、来年度以降、基本設計に取り組むこととしていますが、施設整備には多額の費用が必要となるため、一部の公共施設については改修し活用することも検討しながら、住民の利便性や機能の連携、施設の規模、施設整備費や維持管理費など、総合的に検討したうえで、基本設計に取り組むこととしています。

◆東地区の取り組み



(東地区複合化施設(左)・にぎわい施設(右)の外観イメージ)



(内観イメージ)

東地区公共施設再編整備基本計画・基本設計

現在の中央公民館、国民健康保険診療所、老人福祉センター永寿荘、ふれあい文化センターの各施設を集約し整備することとし、新たな施設については、中央公民館周辺に建設することとしています。

▶基本方針

「ただいまとおかえりが響き合うオープンな場所（みんなで集える居間のような拠点）」を整備コンセプトとして、子どもから高齢者まで、さまざまな世代の人が集い、学び、交流する。誰もが気軽に立ち寄り、それぞれの時間を過ごせる。まちの居間のような場所を目指します。

▶施設の規模等

２階建て　延べ床面積　約１，５００㎡

施設には、診療所(内科・歯科)のほか、図書ライブラリー、会議室、和室、作業室などの機能を設けます。

また、施設の敷地には、地域の活性化を図るため、上記の施設とは別に、新たに農産物直売所を含む地域のにぎわい施設（約２１０㎡）を設けます。

◇今後の予定

来年以降、旧双葉保育所および中央公民館を解体し、施設を建設することとしており、現在、実施設計に取り組んでいます。実施設計の内容や解体を含むスケジュール等につきましては、改めてお知らせいたします。

問＝総合政策課　☎739-3412